



平成30年4月9日

「物流業の海外進出に向けた諸外国の物流事情実態調査 シンガポール・マレーシア・ブルネイ編」報告書を発刊しました。

(一社)日本物流団体連合会(会長:田村 修二)は、「物流業の海外進出に向けた諸外国の物流事情実態調査」を毎年実施していますが、2017年(平成29年)度に取り組んだ同調査のシンガポール・マレーシア・ブルネイにつき、この度、報告書を発刊しました。

本報告書は、これまで、2012年(平成24年)度にタイ編を発刊以来、翌2013年(平成25年)度にミャンマー編、2014年(平成26年)度はベトナム編、2015年(平成27年)度はカンボジア・ラオス編、2016年(平成28)度はインドネシア・フィリピン編と、物流関係の皆様にご好評いただいております。本報告書の発刊により、アセアン10カ国の実態調査は一巡することとなります。

2018年3月刊

A4版 96ページ (定価/本体2,000円+消費税)

一般社団法人 日本物流団体連合会 発行

目次

第1章 調査の概要

第2章～第4章

シンガポール・マレーシア・ブルネイにおける物流事業の実情

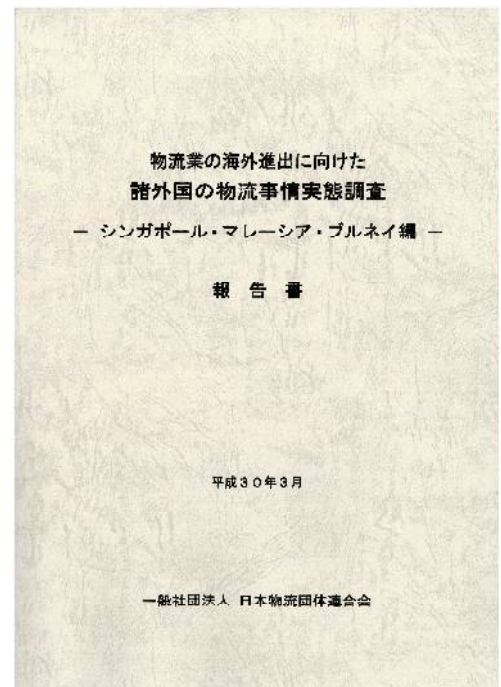
(現地実態調査から)

- ・物流事情について
- ・地域統括会社について *シンガポールのみ
- ・コールドチェーン、日本食のビジネス拡大の可能性等について
- ・e-commerceについて
- ・ハラル市場について

第5章 まとめ

最後に

資料編 シンガポール・マレーシア・ブルネイに関するデータ



事務局 担当: 中川